

LEDシーリングライト

保証書添付 保存用 一般住宅用 取扱説明書

禁止マーク
してはいけない内容です指示マーク
必ず守る内容です

安全上の注意

お使いになると、人への危険や財産への損害を未然に防止するため、安全に関する内容を記載しています。
この「安全上の注意」をよくお読みの上、必ずお守りください。

! 警告

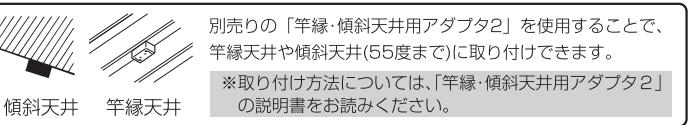
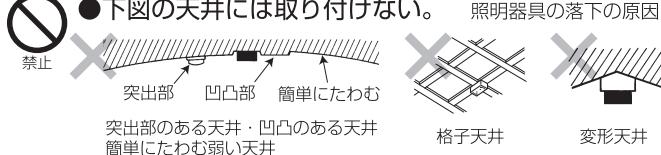
誤った取り扱いをしたときに、死亡や重症などに結びつく可能性がある内容です。

| | |
|--|--|
|  <p>●照明器具の取り付け、取り外しは、取扱説明書に従い確実に行う。 必ず守る</p> <p>●お手入れの際、主電源を切る。 火災や感電・落によるケガの原因となることがあります。</p> |  <p>●交流100Vで使用する。 必ず守る</p> <p>●異常を感じたら、速やかに主電源を切る。 異常状態がおさまったことを確認して販売店またはお客様相談室にご相談ください。</p> |
|  <p>●布や紙など燃えやすいものを器具にかぶせない。 禁上</p> <p>●照明器具の隙間に金属類や燃えやすいものを入れない。 火災・感電の原因となることがあります。</p> |  <p>●調光器やセンサー付きの壁スイッチは、一般的な入切用壁スイッチに交換する。 火災や照明器具の故障の原因となることがあります。</p> |
|  <p>●照明器具の改造や部品交換をしない。 分解禁止</p> <p>火災や感電・落によるケガの原因となることがあります。</p> |  <p>(交換工事は、電気工事店に依頼してください。 資格が必要です。)</p> |



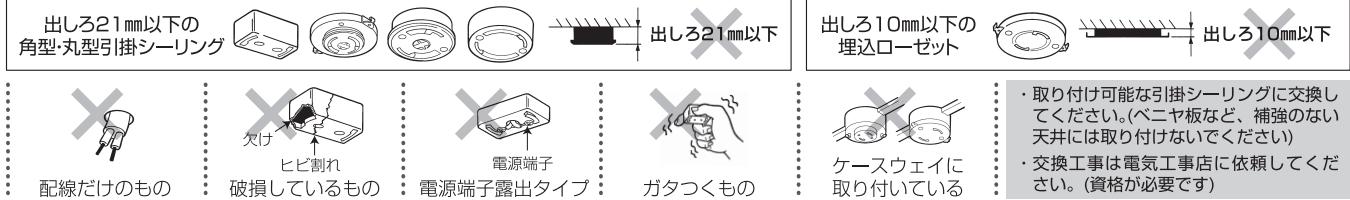
! 下図の天井には取り付けない。

照明器具の落下の原因となります。



! 下図の配線器具には取り付けない。

照明器具の落下・感電・火災の原因となります。



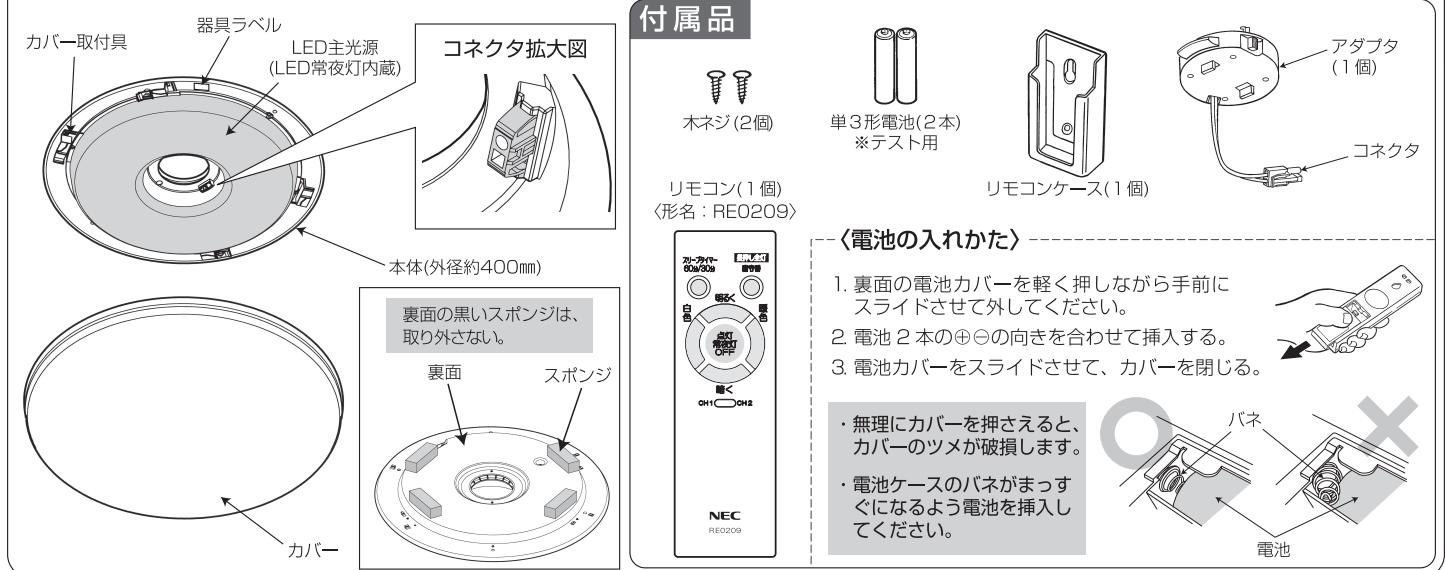
! 注意

誤った取り扱いをしたときに、傷害または家屋、家財などの損害に結びつく可能性がある内容です。

| | |
|--|--|
|  <p>●照明器具には寿命があります。 必ず守る</p> <p>設置して8~10年経つと、外観に異常がなくとも内部の劣化が進行しています。点検・交換してください。 点検せずに長期間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。</p> <p>●1年に1回は、「安全チェックシート」により、自主点検してください。</p> |  <p>●点灯中や消灯直後は本体に触らない。 接觸禁止</p> <p>やけどの原因となることがあります。</p> <p>●破損したカバーは直接手で触らない。 ケガの原因となることがあります。</p> |
|  <p>●浴室など湿気の多い場所や屋外で使用しない。 水ぬれ禁止</p> <p>●お手入れの際、水洗いしない。 この製品は防水のため、火災や感電の原因となることがあります。</p> |  <p>●暖房器具の真上など、温度の高い場所で使用しない。 禁止</p> <p>火災の原因となることがあります。 (この製品は、5°C~35°Cの温度範囲で使用してください。)</p> <p>●LED光源を直視しない。 目への痛みの原因となることがあります。</p> |

各部の名称

一部省略抽象化した共通部品図です。機種によってカバー形状などが異なります。



照明器具の取り付け方法

感電等の事故防止のため、必ず主電源を切って行ってください。

1

天井の配線器具を確認し アダプタを取り付ける

- ①右図の配線器具であれば取り付け可能です。
ガタつきや破損がないことを確認する。
- ②アダプタの引掛金具を配線器具に挿入し、
右(時計回り)にカチッと音がするまで回す。
- ③右図の要チェック内容を確認する。

△警告

落下のおそれあり 取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。



2

本体を取り付ける

配線器具の形状によって、取り付け方法が異なります。

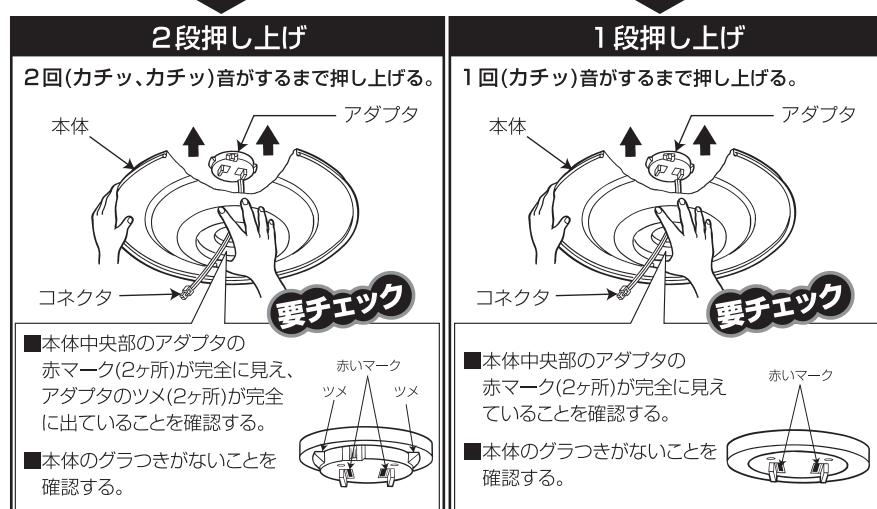
- ①コネクタを本体中央の丸穴に通して、アダプタに本体の穴を合わせ、本体中央部を天井に押し上げる。
本体裏面の黒いスponジは取り外さない。
本体が回転し、固定できなくなります。

- ②右図の要チェック内容を確認する。

- ③本体のグラつきがないことを確認する。
これで本体の取り付けは完了です。

△警告

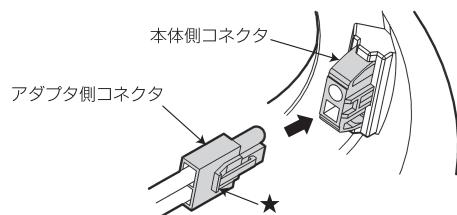
落下のおそれあり 取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。



3

電源を接続する

- ①アダプタ側コネクタを本体側コネクタに確実に差し込む。
- ②★の部分を押さえずに、アダプタ側コネクタの線を引っ張り、抜けないことを確認する。



*コネクタには方向があります。
コネクタの○と□の向きを確認して差し込んでください。

4

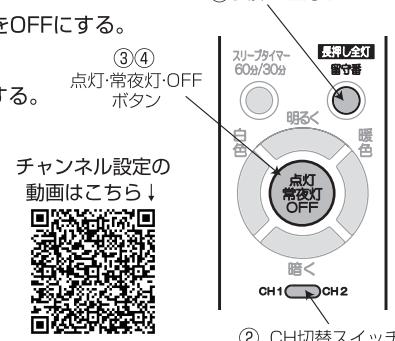
本体のチャンネルを設定する (出荷時は、チャンネル1に設定しています。)

【準備】

チャンネルを変更したい照明器具以外は、壁スイッチ(主電源)をOFFにする。

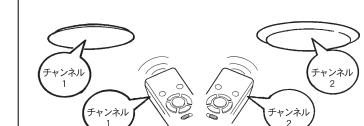
【リモコン操作】

- ① 長押し全灯ボタン を2秒以上、長押して、全灯状態にする。
- ② CH切替スイッチ をスライドして、設定したいチャンネル(CH1、CH2)を選択する。
- ③ 点灯・常夜灯・OFFボタン を3秒以上、長押しする。
- ④ 照明器具から「ピーピーピー」と音が聞こえたら指を離して、5秒以内にもう一度、点灯・常夜灯・OFFボタン を短押しする。(1秒以内に指を離す)
- ⑤ 照明器具から「ピーピー」と音が聞こえたら設定は完了です。
※「ピー」のアラーム音がした場合、最初から操作をやり直してください。
- ⑥ リモコンで照明器具を操作できるか確認してください。



■1つのリモコンで2台の照明器具を別々に操作できます。

1台目を「CH1」、2台目を「CH2」に設定する。
リモコンのチャンネルを操作したい照明器具のチャンネルに合わせて操作をしてください。



注意事項

- ・リモコンを照明器具に向けて設定してください。
- ・ボタンは指先で押してください。
- 複数のボタンを同時に押すと設定できません。
- 確認音が聞こえにくい場合は、カバーを外して設定をお試しください。

5

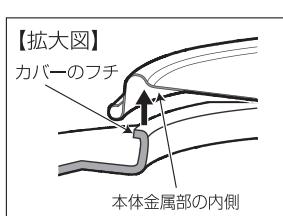
カバーを取り付ける

※カバーを取り付けずにご使用にならないでください。

- ①カバーを水平に持ち上げて、カバーのフチを本体金属部の内側にはめる。
- ②カバーを本体に押し当てたまま、しっかりと右に回して(カバーが回らなくなるまで)取付具のロック(カバー落下防止)が掛かれば、取り付け完了です。

要チェック

- カバーをゆっくり右に回すと、取付具にコツンと当たりますが、さらに右に回してください。
- 取り付け後、カバーを軽く左に回して、簡単に外れないことを確認してください。
- 事前に本体を床において練習いただくと、感覚が分かりスムーズに取り付けできます。



△警告

落下のおそれあり

取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。カバーは無理に取り付けないでください。割れ・落下などによるけがの原因となります。

リモコンの操作方法

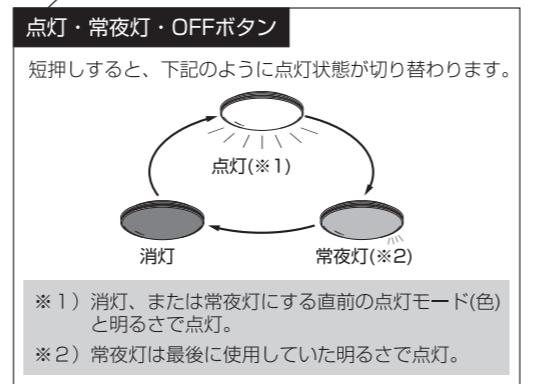
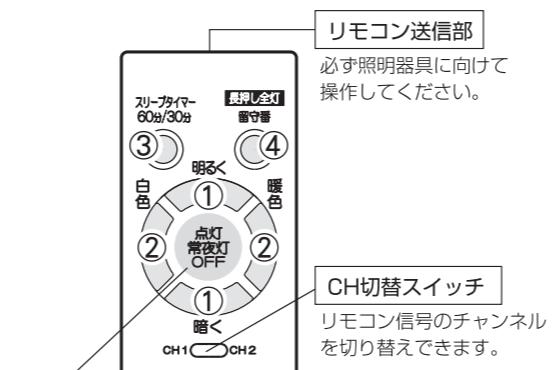
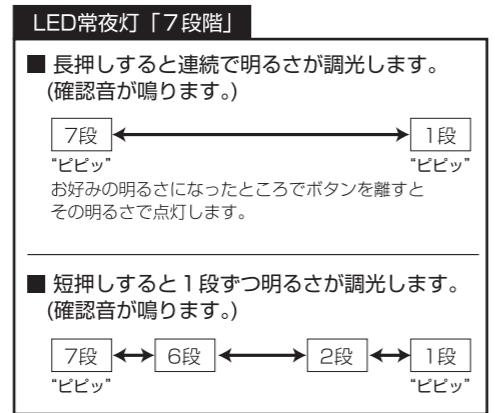
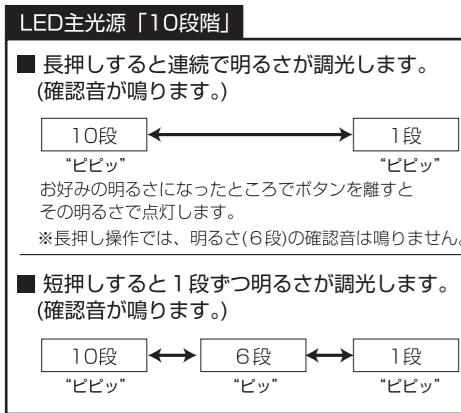
■必ず照明器具のチャンネルと合わせてご使用ください。

■壁スイッチ(主電源)がOFFの場合、リモコンでの操作はできません。ONにしてから、リモコンで操作を行なってください。

■確認音は照明器具から鳴ります。

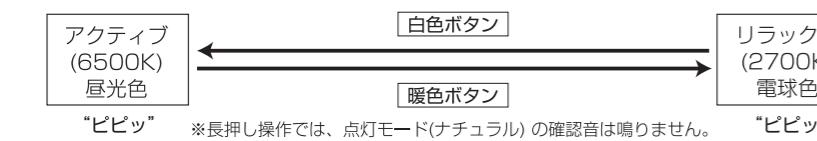
① 調光ボタン(明るく/暗く)

好みの明るさに調光できます。



② 調色ボタン(白色/暖色)

好みの点灯モード(色)「5段階」に切り替えができます。

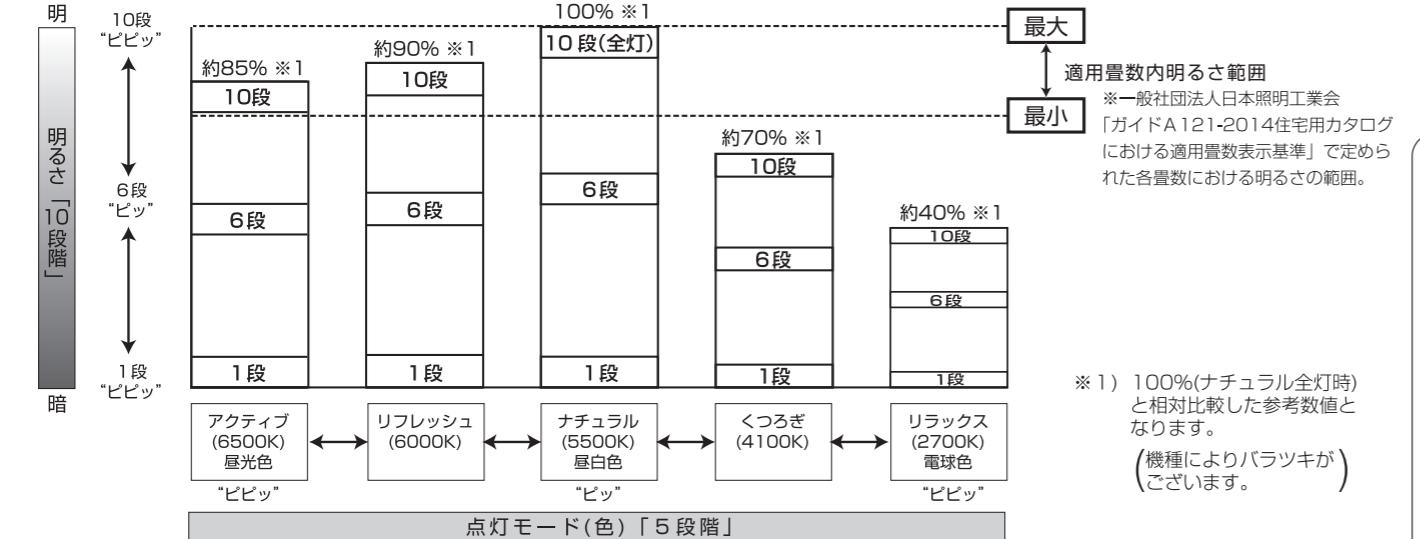


短押しすると1段ずつ点灯モード(色)が切り替わります。(確認音が鳴ります。)



※K(ケルビン)とは、色温度の単位で光の色を数値化したものです。

各点灯モード(色)の明るさイメージ



※K(ケルビン)とは、色温度の単位で光の色を数値化したものです。

使用上に関するお知らせ

- 精密機器のため、落下などの衝撃を加えないでください。
- 長期外出時は、節電のために壁スイッチをOFFにしてください。
- リモコンは、温度の高いところ、湿気の多いところでの使用しないでください。
- 水、コーヒー、ジュースなどの液体をかけないでください。
故障の原因となります。
- 電池寿命の目安（1日10回使用の場合）：マンガン電池（約6ヶ月）
- 付属の電池はテスト用です。新しい電池に交換してください。
- 充電式電池は使用しないでください。
- 電池は、+ - の極性を正しく入れてください。
- 長期間リモコンを使用しない場合、電池を外してください。
電池の液漏れによる故障の原因となります。
- 未使用の電池と使用した電池、種類の異なる電池を混用しないでください。
電池の液漏れによる故障の原因となります。
- LED光源はお客様自身での交換はできません。
- LED光源は、お客様自身での交換はできません。
- 天井取付面の構造や材質により、取付面が変色などを起こす場合があります。

異常や故障ではありません

- 点灯中や消灯後、カバー等のプラスチックの伸縮により、「ピシ・ピシ」、「ポツ・ポツ」という「きしむ音」や「摩擦音」が生じることがあります。
- 照明器具の近くでラジオやテレビ、リモコンなどの電気機器を使用されると、雑音が入ったり、リモコンを操作しても動作しない場合があります。
- 壁スイッチで電源を切った場合や停電の場合は、リモコンで操作しても動作しません。
- リモコンは信号が届く範囲内で、照明器具に向けて操作してください。
(しゃべい物がある場合やリモコンを壁に取り付けた状態で、リモコン)操作を行うと、動作しない場合があります。
- 天井や壁、床の材質によってはリモコンが反応しにくい場合があります。
- 3Dテレビ用などの特殊なメガネをかけて点灯している照明器具を見た場合、縞模様やちらつきが見えることがあります。
- LED光源にはバラツキがあるため、同一形名商品、同一適用量商品でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
- チャンネル設定などの確認音は、照明器具から鳴るため、ご使用環境などによっては聞こえにくい場合がございます。

③ スリープタイマーボタン(60分/30分)

60分、30分の消灯タイマーを設定できます。

■60分後、または30分後に主光源を自動で消灯(※)することができます。

| | |
|---------------|---------------------------|
| (※) フェードアウト機能 | 主光源が消灯する約10分前から徐々に暗くなります。 |
|---------------|---------------------------|

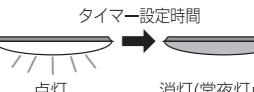
60分 ボタンを1回押す(確認音「ピッ')

30分 ボタンを3秒以内に続けて2回押す(確認音「ピッピッ')

解除 タイマーが設定された状態でボタンを1回押す(確認音「ピーッ')

■タイマー消灯後の「常夜灯の点灯／消灯」をチャンネル設定で選べます。

CH1(常夜灯点灯)



CH2(常夜灯消灯)



④ かんたん留守タイマー・長押し全灯ボタン

かんたん留守タイマーの設定やLED主光源を全灯できます。

■長押し(2秒以上)すると、LED主光源が全灯(ナチュラル明るさ10段)で点灯します。

■短押しすると、3パターンのかんたん留守タイマーを設定できます。

かんたん留守タイマーを設定すると、照明器具が自動で点灯／消灯を繰り返します。留守時に在宅を装うことができ、防犯面^{※1}で安心です。面倒な時間設定が不要で、ボタンを押す回数に応じて待機時間^{※2}を選択できます。

※1) 侵入や盗難などを直接防止するものではありません。発生した損害については責任を負いかねます。

※2) 待機時間は3パターン。

設定方法

朝 外出前に

10時間待機

(常夜灯1時間 + 消灯9時間)

※4

昼 外出前に

6時間待機

(常夜灯1時間 + 消灯5時間)

※4

夜 外出前に

待機なし

(すぐ開始)

1時間

5時間

17時間

※3) 消灯または常夜灯にする直前の点灯モード(色)

※4) タイマー設定完了をお知らせするため、常夜灯が1時間点灯します。

解除方法

■タイマーが設定された状態でボタンを1回押す(確認音「ピーッ')

留守タイマー作動中

点灯

→

消灯

→

点灯

→

消灯

注意事項

リモコン以外では、タイマーを設定することはできません。また、タイマーの設定状態を確認する方法は、設定時の「確認音」のみです。

タイマーの設定を変更する場合は、タイマーを一旦解除し再設定してください。

タイマー設定時にリモコンや壁スイッチを操作したり、停電した場合は、タイマーの設定が解除されます。

タイマーの設定時間や点灯・消灯パターンは変更することはできません。

スリープタイマーとかんたん留守タイマーを併用して設定することはできません。

タイマーには誤差があるため、連日でご使用の場合は動作時間のズレが大きくなります。

デモモードの解除方法

確認音は照明器具から鳴ります。

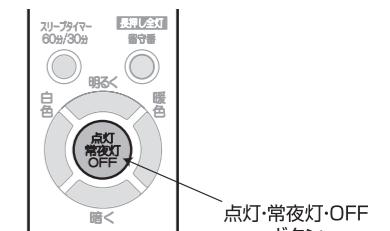
■LED主光源が自動で調光、点灯モード(色)の切り替えを繰り返す場合は、照明器具がデモモード状態になっています。(照明器具の故障ではありません)

下記の手順で照明器具のデモモードを解除してください。

- 約15秒以内に、確認音「ピピピ」が鳴るまで、[点灯・常夜灯・OFFボタン]を連打(10回以上)してください。
- 確認音「ピピピ」が鳴れば、デモモードの解除完了です。

注意事項

- 照明器具とリモコンのチャンネルが一致(設定は2ページ参照)した状態で行ってください。
- 照明器具とリモコンのチャンネルが一致していない場合、デモモードの解除はできません。
- 確認音「ピピピ」が鳴らない場合は、解除できていません。
再度、デモモードの解除を行ってください。
- デモモードが設定されていない状態で解除操作を行っても確認音「ピピピ」は鳴りません。



保証について(持込修理)

- 保証期間は、商品お買い上げ日から、LED光源及びLED電源は5年間、その他(本体、リモコン、セード、カバーなど)は1年間です。
- 保証の例外について
 - 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。
 - 機能に影響を与えない変色等の劣化は対象外とさせて頂きます。
 - 乾電池等の消耗品は、対象外とさせて頂きます。
 - モジュール寿命(光束維持率70%)は、製品の寿命を保証するものではありません。
- 取扱説明書、本体添付ラベル等の注意書による正常なご使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせて頂きます。
 - (1)無料修理をご依頼になる場合には商品に本書を添えて頂き、お買い上げの販売店にお申し付けください。
 - (2)ご転居またはご贈答品等で、お買い上げの販売店に無料修理を依頼になれない場合には、修理受付センターにご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には、有料とさせて頂きます。
 - (1)使用上の誤り、あるいは改造や分解、不当な修理による故障および損傷。
 - (2)お買い上げ後の取付け場所の移動、輸送、落下等による故障および損傷。
- 修理の際に取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は当社で引き取らせて頂きます。

- 修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用する事があります。
- 一般的な使用状態で、照明器具の寿命は、8年から10年です。
- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
- 従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等について、ご不明の場合は、お買い上げの販売店または修理受付センターにご相談ください。
- その際は、器具の形名、お買い上げ時期をお忘れなくお知らせください。
- 個人情報の取り扱いについて
 - 1: 保証書に記載頂いた住所等の情報は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させて頂く場合がありますので、ご了承ください。
 - 2: 上記利用目的のために、当社が業務を委託する事業者に対し、必要なお客様の個人情報を表示する場合がございますが、この場合、当該事業者に対して当該個人情報の厳重な管理を求め、上記利用目的以外での使用を行わせないよう致しますので、ご了承ください。

壁スイッチコントロール機能

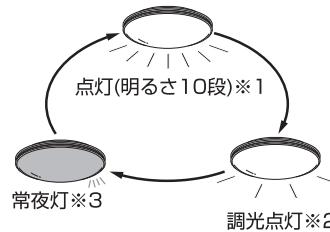
壁スイッチで照明器具を操作できます。

点灯・消灯する



点灯状態を切り替える

壁スイッチを素早く(約2秒以内)OFF→ONすると点灯状態が切り替わります。



注意事項

- リモコンで消灯させた状態で壁スイッチをOFFにすると、次に壁スイッチをONした時は消灯状態となります。
- 壁スイッチでは点灯モード(色)を切り替えできません。

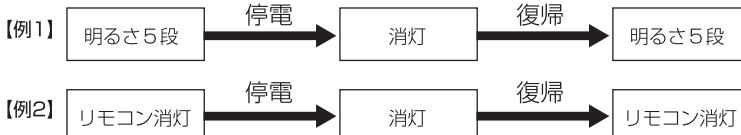
※1) 消灯、または常夜灯にする直前の点灯モード(色)

※2) 消灯、または常夜灯にする直前の点灯モード(色)と明るさ(明るさが10段の場合は6段)

※3) 最後に使用していた明るさ

停電復帰機能

停電(消灯)する直前の点灯状態に戻ります。



注意事項

- 落雷などによる短い停電(約2秒以内)が発生した場合、点灯状態が切り替わることがあります。
- かんたん留守タイマー設定中に停電した場合、タイマーは解除され、連続点灯状態になることがあります。

メモ

NEC LED照明器具 保証書

※ 保証内容については裏面をご覧ください。

本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保存してください。
☆印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ず記入の有無をご確認ください。

持込修理

| | | | |
|------|------------------------|------|---------|
| 形名 | LED光源、LED電源 | 5年間 | ☆お買い上げ日 |
| 保証期間 | その他(本体、リモコン、セード、カバーなど) | 1年間 | 年月日から |
| ☆お客様 | ご住所 | 〒 | |
| | お名前 | ふりがな | 様 |
| | 電話番号 | () | |
| ☆販売店 | | | |

見本

安全チェックシート

下欄の安全点検項目について点検し、該当する場合は点検結果欄に○印を記入し、処置手順に従ってください。下記点検項目以外でも不具合があれば、ご購入した販売店・工事店・メーカー等の専門家にご相談ください。

| 安全点検項目 | 点検年月 | 処置手順 |
|---------------------------------|------|------|
| 1. スイッチを入れても、時々点灯しないときがある。 | | |
| 2. ブラグ・コードや本体を動かすと点滅する。 | | |
| 3. ブラグ・コードなどが異常に熱い。 | | |
| 4. こげくさい臭いがする。 | | |
| 5. 点灯時に漏電ブレーカーが動作することがある。 | | |
| 6. コード・ソケット・配線部品に傷みやひび割れ、変形がある。 | | |
| 7. 購入後、10年以上経過している。 | | |
| 8. 点灯するまで時間がかかる。 | | |
| 9. カバー・パネルなどに変色・変形・ひび割れなどがある。 | | |
| 10. 塗装面にふくれ、ひび割れがある。または錆が出ている。 | | |
| 11. 器具取付け部に変形・ガタツキ・ゆるみ等がある。 | | |
| 12. 極端に明るさが低下している。 | | |
| 13. ちらつきが頻繁に生じる。 | | |

安全に関するご注意

明るく安全に使用していただくため、以下の項目にご注意願います。

- 照明器具には寿命があります。
- 設置して8~10年経つ、外観に異常がなくとも内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。点検せずに長期間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。
- ※使用条件は周囲温度30°C、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。(JIS C8105-1解説による。)
- 周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。
- 1年に1回は、「安全チェックシート」により、自主点検してください。(右表)

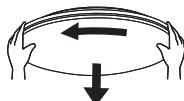
照明器具の取り外し方法

必ず主電源を切って、本体やLED光源部が冷えてから行ってください。

①カバーの外しかた

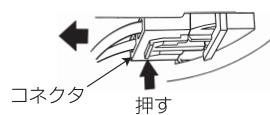
カバーを左(反時計回り)に回して外す。

カバーは無理にはささないでください。
カバーの割れ、落下によるけがの原因となります。



②電源の外しかた

右図のようにコネクタの矢印部分を押しながらコネクタを引き抜く。



定格

| | 置数 | 形名 | 定格電圧 | 定格周波数 | 定格消費電力 | ※各点灯モード(色)の明るさ10段階 |
|-------|----|------------------------|--------|--------------|--------------|--|
| ~6置用 | | HLDC06*** SLDC06*** | AC100V | 50Hz 60Hz | 30W ナチュラル | (アクティブ 約25W リフレッシュ 約28W くつろぎ 約22W リラックス 約13W) |
| ~8置用 | | HLDC08*** SLDC08*** | AC100V | 50Hz 60Hz | 35W ナチュラル | (アクティブ 約30W リフレッシュ 約32W くつろぎ 約25W リラックス 約15W) |
| ~12置用 | | HLDC12*** SLDC12*** | AC100V | 50Hz 60Hz | 45W ナチュラル | (アクティブ 約38W リフレッシュ 約41W くつろぎ 約32W リラックス 約20W) |

●LED照明器具の光源の設計寿命は、40000時間です。

光源寿命とは点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。
※40,000時間は、照明器具の寿命を保証するものではありません。

●消費電力は常夜灯のみ点灯時には約2W消費し、リモコンOFF時には1W以下の消費となります。

お手入れのしかた

安全のため、必ず主電源を切ってしばらくしてから行ってください。

点灯中・消灯直後はLED光源や本体が熱いので、手や肌などをふれないでください。

- 明るく安全に使用していただくため、定期的(6ヶ月に1回程度)に清掃してください。
- ベンジン、シンナーなど揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。外郭強度の低下、変質、変色、故障の原因になります。
- 照明器具全体に水をかけたり、水の中につけて洗うことは絶対にしないでください。

- リモコン送信部は定期的に手入れをしてください。
汚れが付着すると、リモコンが効きにくくなります。
- カバーやリモコン等、樹脂部分の汚れを取るときは、柔らかい布に石けん水(中性洗剤)を含ませて汚れを拭き取った後、洗剤が残らないようよく拭き取ってください。

故障?と思われたら

ご使用中に異常が生じたときは、下表を参考にお調べください。

下表以外の故障と思われる場合は、主電源を切り、お近くの弊社製品取扱店やお客様相談室にご相談ください。
(器具の形名(器具本体の器具ラベルに表示)と、お買い求め時期をお知らせください。)

| 症状 | 主な原因 | 処置方法 |
|------------------------------|--|--|
| 点灯しない | コネクタが正常に差し込まれていない。 | 「3.電源を接続する」を参照。(2ページ) |
| | 壁スイッチ(主電源)が「OFF」になっている。 | 壁スイッチ(主電源)を「ON」にしてください。 |
| | 停電復帰機能が動作している。 | 壁スイッチコントロール機能を使用するか、リモコンのボタンを操作して点灯してください。(5ページ) |
| ・リモコンで操作できない ・タイマーを設定できない | 壁スイッチ(主電源)が「OFF」になっている。 | 壁スイッチ(主電源)を「ON」にしてください。 |
| | リモコンの電池残量が少なくなっている。 | 新しい電池に交換してください。(2個)(1ページ) |
| | リモコンの電池の向き(+,-)が間違っている。電池ケースのバネが曲がっている。 | 「電池の入れかた」を参照。(1ページ) |
| | リモコンの電池に充電式の電池を使用している。 | 新しい電池に交換してください。(2個) |
| | リモコンと器具本体のチャンネルが合っていない。 | 「4.チャンネルを設定する」を参照。(2ページ) |
| 勝手に点灯・消灯する | 他の家電製品(液晶テレビ)などからのノイズがリモコン信号に干渉している。 | 他の家電製品(液晶テレビ)などの電源を切ってください。 |
| | 「スリープタイマー」を設定している。 「かんたん留守タイマー」を設定している。 | タイマーの設定を解除してください。(4ページ) |
| 勝手に明るさや点灯モードが変化する | デモモードに設定している。 | 4ページ「デモモードの解除方法」を参照。 |
| 勝手に暗くなっていく | 「スリープタイマー」に設定している。 | 4ページ「スリープタイマーのフェードアウト機能」を参照。 |
| チャンネルの設定ができない | 確認音が聞こえない。 | 照明器具から確認音が鳴ります。 聞こえない場合はカバーを外して設定をお試しください。 |
| | リモコンの複数のボタンを同時に押している。 | 指先でボタンを正しく押してください。 |
| | リモコンのボタン操作(長押し・短押し)が正しく操作できていない。 | チャンネル設定(2ページ)の手順に沿って正しく操作してください。 |

株式会社ホタルクス 〒105-0014 東京都港区芝1-7-17 <http://www.hotalux.com/> (土曜、日曜、祝日、年末年始および当社指定の定休日を除く)

製品・お取り扱いなどのご相談 受付時間 平日 9:00~12:00 13:00~17:30

お客様相談室 ☎ 0120-52-3205 FAX. 0748-61-2330

修理・アフターサービスのお問い合わせ

受付時間 平日 9:00~17:30

修理受付センター ☎ 0120-334-031 ☎ 0748-61-2361 (フリーダイヤルが利用できない場合)